

【記者発表資料】  
平成29年2月21日  
九州地方整備局

## 「2017 海域港湾空港技術報告会 i n 福岡」の開催

九州地方整備局では、海域・港湾・空港を取り巻く様々な問題解決に向けて、民間企業、大学などと産学官の協働による技術開発を行っているところです。

この度、全国的に高い評価を得ている「港湾分野における最先端の海洋インフラ技術（i-Construction）」等の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することで、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的として、九州大学と共催で下記の通り「2017 海域港湾空港技術報告会 i n 福岡」を開催することといたしました。

なお、本技術報告会は(公社)地盤工学会のCPDプログラム認定を受けております。

### 記

日 時 平成29年2月28日(火) 13:00~17:50

場 所 ホテルセンターザ博多 3階「花筐の間」  
福岡市博多区博多駅中央街4-23  
TEL: 092-461-0111

主 催 九州地方整備局港湾空港部  
九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門

議事次第 別添のとおり

当日の取材を希望される方は、取材申込書「別紙1」に必要事項を記載の上、2月24日(金)18時までにお申し込み下さい。

詳細は取材要領「別紙2」をご覧下さい。

### 【問い合わせ先】

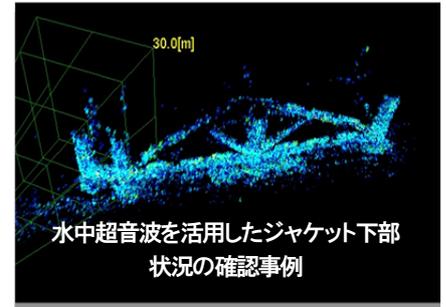
国土交通省 九州地方整備局港湾空港部海洋環境・技術課 課長 有江 浩一  
課長補佐 仲 晃一

TEL: 092-418-3380 FAX: 092-418-3032

# 2017 海域港湾空港

## 技術報告会 in 福岡

海域・港湾・空港を取り巻く様々な課題解決に向けて、近年、民間企業、大学、国など産官学の協働による技術開発が全国各地で活発に行われています。本報告会は全国的に高い評価を得ている最先端の技術開発の現状や九州・下関地区で取り組まれている最新の技術情報等を関係者間で広くかつタイムリーに共有することで、課題解決に向けた技術開発の促進に寄与することを目的として開催するものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。



港湾分野における i-Construction  
港湾分野における i-Construction

日時 2017年2月28日(火)

13:00~17:50 (12:30 開場)

場所 ホテルセントラーザ博多 3階「花筐の間」

福岡市博多区博多駅中央街4-23 TEL : 092-461-0111



フラッグゲート式陸橋

### 問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課 (担当: 有江、仲)

〒812-0013 福岡市博多区博多駅前東2丁目10-7 福岡第二合同庁舎

TEL 092(418)3380 FAX 092(418)3032



地盤工学会 CPD プログラム 認定

主催: 九州地方整備局港湾空港部、九州大学大学院工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門

共催: (公社)地盤工学会九州支部、九州大学学術研究・産学官連携本部、(一財)沿岸技術研究センター、(一財)港湾空港総合技術センター、特定非営利活動法人研究機構ジオセーフ、博多港ふ頭(株)、(一社)日本埋立浚渫協会、(一社)港湾技術コンサルタンツ協会、九州港湾空港建設協会連合会

## プログラム

<司会> 堀田 治(九州地方整備局 港湾空港部長)

13:00~13:05 開会挨拶 笹森 秀樹(九州地方整備局 副局長)

### 第I部 基調講演

13:05~13:35 ばらつきのある改良地盤の確率・統計的評価手法について  
善 功企(九州大学 工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門 特任教授)

### 第II部 全国の先進的土木技術の紹介

13:35~14:00 港湾分野における最先端の海洋インフラ技術 (i-Construction)  
松本さゆり(国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所  
新技術研究開発領域 計測・システム研究グループリーダー)

14:00~14:25 フラップゲート式陸閘の開発  
<平成28年度日本港湾協会技術賞・第18回国土技術開発賞>  
仲保京一(日立造船株式会社 社会インフラ事業本部鉄構・防災ビジネスユニット  
フラップゲート部長)

14:25~14:45 <質疑応答・休憩>

### 第III部 産学官の技術展望 <司会> 池谷 章(九州大学 学術研究・産学官連携本部 産学官連携推進グループリーダー)

14:45~15:05 産官学による共同研究 -フェーズIIの成果について -  
平澤充成(九州大学 工学研究院海域港湾環境防災共同研究部門 教授)

15:05~15:25 有明海湾奥部の高潮に対する脆弱性に着目した適応策の立案に向けた研究事例  
橋本典明(九州大学 工学研究院附属アジア防災研究センター 教授)

15:25~15:45 コンテナターミナルにおける温室効果ガス削減技術と節電技術の開発  
篠田岳思(九州大学 工学研究院海洋システム工学部門 教授)

15:45~16:05 高濃度浮泥の挙動特性を踏まえた新たな航路管理の有効性に関する検討について  
吉村香菜美(九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所)

16:05~16:25 <質疑応答・休憩>

16:25~16:45 コンテナターミナル照明のLED化について ~ガントリークレーン照明のLED化実験【まとめ】~  
重富康文(博多港ふ頭株 整備技術部 技術調査課長)

16:45~17:05 環境に配慮したグラブ浚渫船「若鷺丸」  
金子貴一((一社)日本埋立浚渫協会九州支部推薦:若築建設(株)本社技術部 機械課長)

17:05~17:25 港湾鋼構造物の補修・補強工法における課題と対応について  
砂川和明(九州港湾空港建設協会連合会推薦:宮川建設(株)工事部 工事課長)

17:25~17:45 シルテーションに関するメカニズムと技術課題への取り組みについて  
杉浦幸彦((一社)港湾技術コンサルタンツ協会推薦:いであ(株)沿岸・海岸事業部 事業部長代理)

17:45~17:50 閉会挨拶 江頭 和彦(NPO 法人研究機構ジオセーフ 監事)



## 取材要領

### 1. 事前申し込みについて

当日取材を希望される方は、九州地方整備局港湾空港部海洋環境・技術課まで、FAXにて事前申込みをお願いします。事前申込みが無い場合は、取材ができませんのでご注意ください。

(1) 申込期日は、厳守をお願いします。(2月24日(金) 18:00必着)

・申込先 (FAX番号) 092-418-3032

※申込期日に間に合わない場合は、取材ができない場合があります。

(2) 別紙様式に以下の事項を記載して下さい。

- ・所属クラブ名
- ・会社名及び部署名
- ・取材者の役職・氏名 (取材者全員の役職・氏名を記載願います。)

### 2. 当日の受付及び留意事項について

- ・受付場所：ホテルセントラーザ博多 3階「花筐の間」

福岡市博多区博多駅中央街4-23

TEL: 092-461-0111

- ・受付時間：12:30~12:50

#### <留意事項>

- ・取材中は、身分証明書、自社腕章を必ず着用願います。
- ・会場内では、「報道関係者席」にご着席頂くとともに、撮影は予め定められたスペースもしくは「報道関係者席」からお願いします。
- ・会場の都合により、会場内で電源をとることはできません。パソコン等を使用される場合は、バッテリー等をご持参願います。
- ・質疑については、担当者が現地にて対応いたします。
- ・その他、取材にあたっては、担当者の指示に従って下さい。